【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2020-198628(P2020-198628A)
【公開日】令和2年12月10日(2020.12.10)
【年通号数】公開・登録公報2020-050
【出願番号】特願2020-137732(P2020-137732)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　21/4623　(2011.01)
Ｈ０４Ｎ　21/4405　(2011.01)
Ｈ０４Ｎ　21/418　(2011.01)
Ｈ０４Ｈ　20/28　(2008.01)
Ｈ０４Ｈ　40/90　(2008.01)
Ｈ０４Ｈ　60/13　(2008.01)
Ｈ０４Ｈ　60/15　(2008.01)
Ｈ０４Ｈ　60/23　(2008.01)
Ｈ０４Ｂ　1/16　(2006.01)
Ｈ０４Ｌ　9/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　21/4623
Ｈ０４Ｎ　21/4405
Ｈ０４Ｎ　21/418
Ｈ０４Ｈ　20/28
Ｈ０４Ｈ　40/90
Ｈ０４Ｈ　60/13
Ｈ０４Ｈ　60/15
Ｈ０４Ｈ　60/23
Ｈ０４Ｂ　1/16　Ｚ
Ｈ０４Ｌ　9/00　６０１Ｂ
Ｈ０４Ｌ　9/00　６０１Ｅ

【手続補正書】
【提出日】令和3年6月7日(2021.6.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１のチューナ部が、ＣＳデジタル放送の第１の事業体が送出する第１のサービス信号を受信し、前記第１のサービス信号に含まれる第１のスクランブルコンテンツ、所定の頻度で送信される暗号化された第１ａキー（Ｋｗ）を含む前記第１の事業体の第１ａ制御情報（ＥＭＭ）、第１の周期で更新され前記第１の周期よりも短くかつ所定の頻度より小さい第２の周期で送信される暗号化された第２ａキー（Ｋｓ）を含む前記第１の事業体の第２ａ制御情報（ＥＣＭ）を受信すること、
第２のチューナ部が、前記ＣＳデジタル放送の第２の事業体が送出する第２のサービス信号を受信し、前記第２のサービス信号に含まれる第２のスクランブルコンテンツ、所定の頻度で送信される暗号化された第１ｂキー（Ｋｗ）を含む前記第１の事業体の第１ｂ制

御情報（ＥＭＭ）、第３の周期で更新され前記第３の周期よりも短くかつ所定の頻度より小さい第４の周期で送信される暗号化された第２ｂキー（Ｋｓ）を含む前記第２の事業体の第２ｂ制御情報（ＥＣＭ）を受信すること、

デスクランブラが、前記第１のチューナ部から出力された前記第１のスクランブルコンテンツをデスクランブルすること、

前記デスクランブラが、前記第２のチューナ部から出力された前記第２のスクランブルコンテンツをデスクランブルすること、

制御部が、前記デスクランブラから出力される第１のコンテンツおよび第２のコンテンツの所定のテーブルをチェックすること、

前記所定のテーブルに含まれているパケットＩＤに基づいて、前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）、前記第２ａ制御情報（ＥＣＭ）、前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）、前記第２ｂ制御情報（ＥＣＭ）を取り出すこと、前記第１のチューナ部、前記第２のチューナ部、前記デスクランブラを制御すること、

ＣＡＳモジュールが、前記制御部により制御され、前記第１の事業体の前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）から、固有の第３キー（Ｋｍ）を用いて前記第１ａキー（Ｋｗ）を取得し、前記第１の事業体の前記第２ａ制御情報（ＥＣＭ）から、取得された前記第１ａキー（Ｋｗ）を用いて、前記デスクランブラに与えるための前記第２ａキー（Ｋｓ）を取得すること、

前記ＣＡＳモジュールが、前記制御部により制御され、前記第２の事業体の前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）から、固有の第３キー（Ｋｍ）を用いて前記第１ｂキー（Ｋｗ）を取得し、前記第２の事業体の前記第２ｂ制御情報（ＥＣＭ）から、取得された前記第１ｂキー（Ｋｗ）を用いて、前記デスクランブラに与えるための前記第２ｂキー（Ｋｓ）を取得すること、を備え、

さらに前記制御部は、

前記第１の事業体の前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）、前記第１の事業体の前記第２ａ制御情報（ＥＣＭ）、前記第２の事業体の前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）、前記第２の事業体の前記第２ｂ制御情報（ＥＣＭ）をバッファに格納し、

前記ＣＳデジタル放送の前記第１の事業体を単位として前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）を受信してから前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）に対応した第１コマンド送信を前記ＣＡＳモジュールに対して行う期間として前記第１の周期よりも長い第１の期間として３０秒を設定し、且つ、前記第１の期間に前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）を最小Ｒａ（１以上の整数）個処理すべきことを設定し、

前記第１の期間に前記第１のチューナ部により受信し前記バッファに格納した前記第１の事業体の前記第２ａ制御情報（ＥＣＭ）に対応した第２コマンド送信を前記ＣＡＳモジュールに対して行い、前記第１の期間における当該第２コマンド送信に伴う処理以外の時間に前記バッファに格納した前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）に対応した所定数の第１コマンド送信を前記ＣＡＳモジュールに対して行う事で前記第１の期間に前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）を最小Ｒａ（１以上の整数）個処理し、

前記ＣＳデジタル放送の前記第２の事業体を単位として前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）を受信してから前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）に対応した第１コマンド送信を前記ＣＡＳモジュールに対して行う期間として前記第３の周期よりも長い第２の期間として３０秒を設定し、且つ、前記第２の期間に前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）を最小Ｒｂ（１以上の整数）個処理すべきことを設定し、

前記第２の期間に前記第２のチューナ部により受信し前記バッファに格納した前記第２の事業体の前記第２ｂ制御情報（ＥＣＭ）に対応した第２コマンド送信を前記ＣＡＳモジュールに対して行い、前記第２の期間における当該第２コマンド送信に伴う処理以外の時間に前記バッファに格納した前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）に対応した所定数の第１コマンド送信を前記ＣＡＳモジュールに対して行う事で前記第２の期間に前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）を最小Ｒｂ（１以上の整数）個処理し、

前記第１の周期で更新される前記第２ａキー（Ｋｓ）を取得し前記第１のスクランブル

コンテンツを前記デスクランブラによりデスクランブルして記録し、
前記第３の周期で更新される前記第２ｂキー（Ｋｓ）を取得し前記第２のスクランブルコンテンツを前記デスクランブラによりデスクランブルして記録し、
前記第１の期間内に受信した前記第１の事業体の前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）が前記バッファ内に既に存在する場合にあとから受信した前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）を破棄し、
前記第２の期間内に受信した前記第２の事業体の前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）が前記バッファ内に既に存在する場合にあとから受信した前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）を破棄する、受信方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
実施形態によれば、
第１のチューナ部が、ＣＳデジタル放送の第１の事業体が送出する第１のサービス信号を受信し、前記第１のサービス信号に含まれる第１のスクランブルコンテンツ、所定の頻度で送信される暗号化された第１ａキー（Ｋｗ）を含む前記第１の事業体の第１ａ制御情報（ＥＭＭ）、第１の周期で更新され前記第１の周期よりも短くかつ所定の頻度より小さい第２の周期で送信される暗号化された第２ａキー（Ｋｓ）を含む前記第１の事業体の第２ａ制御情報（ＥＣＭ）を受信すること、
第２のチューナ部が、前記ＣＳデジタル放送の第２の事業体が送出する第２のサービス信号を受信し、前記第２のサービス信号に含まれる第２のスクランブルコンテンツ、所定の頻度で送信される暗号化された第１ｂキー（Ｋｗ）を含む前記第１の事業体の第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）、第３の周期で更新され前記第３の周期よりも短くかつ所定の頻度より小さい第４の周期で送信される暗号化された第２ｂキー（Ｋｓ）を含む前記第２の事業体の第２ｂ制御情報（ＥＣＭ）を受信すること、
デスクランブラが、前記第１のチューナ部から出力された前記第１のスクランブルコンテンツをデスクランブルすること、
前記デスクランブラが、前記第２のチューナ部から出力された前記第２のスクランブルコンテンツをデスクランブルすること、
制御部が、前記デスクランブラから出力される第１のコンテンツおよび第２のコンテンツの所定のテーブルをチェックすること、
前記所定のテーブルに含まれているパケットＩＤに基づいて、前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）、前記第２ａ制御情報（ＥＣＭ）、前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）、前記第２ｂ制御情報（ＥＣＭ）を取り出すこと、前記第１のチューナ部、前記第２のチューナ部、前記デスクランブラを制御すること、
ＣＡＳモジュールが、前記制御部により制御され、前記第１の事業体の前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）から、固有の第３キー（Ｋｍ）を用いて前記第１ａキー（Ｋｗ）を取得し、前記第１の事業体の前記第２ａ制御情報（ＥＣＭ）から、取得された前記第１ａキー（Ｋｗ）を用いて、前記デスクランブラに与えるための前記第２ａキー（Ｋｓ）を取得すること、
前記ＣＡＳモジュールが、前記制御部により制御され、前記第２の事業体の前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）から、固有の第３キー（Ｋｍ）を用いて前記第１ｂキー（Ｋｗ）を取得し、前記第２の事業体の前記第２ｂ制御情報（ＥＣＭ）から、取得された前記第１ｂキー（Ｋｗ）を用いて、前記デスクランブラに与えるための前記第２ｂキー（Ｋｓ）を取得すること、を備え、
さらに前記制御部は、
前記第１の事業体の前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）、前記第１の事業体の前記第２ａ制

御情報（ＥＣＭ）、前記第２の事業体の前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）、前記第２の事業体の前記第２ｂ制御情報（ＥＣＭ）をバッファに格納し、

前記ＣＳデジタル放送の前記第１の事業体を単位として前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）を受信してから前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）に対応した第１コマンド送信を前記ＣＡＳモジュールに対して行う期間として前記第１の周期よりも長い第１の期間として３０秒を設定し、且つ、前記第１の期間に前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）を最小Ｒａ（１以上の整数）個処理すべきことを設定し、

前記第１の期間に前記第１のチューナ部により受信し前記バッファに格納した前記第１の事業体の前記第２ａ制御情報（ＥＣＭ）に対応した第２コマンド送信を前記ＣＡＳモジュールに対して行い、前記第１の期間における当該第２コマンド送信に伴う処理以外の時間に前記バッファに格納した前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）に対応した所定数の第１コマンド送信を前記ＣＡＳモジュールに対して行う事で前記第１の期間に前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）を最小Ｒａ（１以上の整数）個処理し、

前記ＣＳデジタル放送の前記第２の事業体を単位として前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）を受信してから前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）に対応した第１コマンド送信を前記ＣＡＳモジュールに対して行う期間として前記第３の周期よりも長い第２の期間として３０秒を設定し、且つ、前記第２の期間に前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）を最小Ｒｂ（１以上の整数）個処理すべきことを設定し、

前記第２の期間に前記第２のチューナ部により受信し前記バッファに格納した前記第２の事業体の前記第２ｂ制御情報（ＥＣＭ）に対応した第２コマンド送信を前記ＣＡＳモジュールに対して行い、前記第２の期間における当該第２コマンド送信に伴う処理以外の時間に前記バッファに格納した前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）に対応した所定数の第１コマンド送信を前記ＣＡＳモジュールに対して行う事で前記第２の期間に前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）を最小Ｒｂ（１以上の整数）個処理し、

前記第１の周期で更新される前記第２ａキー（Ｋｓ）を取得し前記第１のスクランブルコンテンツを前記デスクランブラによりデスクランブルして記録し、

前記第３の周期で更新される前記第２ｂキー（Ｋｓ）を取得し前記第２のスクランブルコンテンツを前記デスクランブラによりデスクランブルして記録し、

前記第１の期間内に受信した前記第１の事業体の前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）が前記バッファ内に既に存在する場合にあとから受信した前記第１ａ制御情報（ＥＭＭ）を破棄し、

前記第２の期間内に受信した前記第２の事業体の前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）が前記バッファ内に既に存在する場合にあとから受信した前記第１ｂ制御情報（ＥＭＭ）を破棄する、受信方法が提供される。